

市民と学生のためのセミナー（開催案内）

～めぐる 世界のモノとごみ～

私たちが使用し廃棄した自動車や家電製品の一部は、中古品として海外で再利用されています。また、ペットボトルをはじめ私たちがごみとして廃棄したものの一部はリサイクル資源として輸出されています。グローバル化の流れの中で経済原理に沿ってモノやごみが世界をめぐるのはもはや避けられないことのようにです。しかし、海を渡ったモノやごみは、行った先ではたしてうまく活用されているのでしょうか。中古品が廃棄された後はどうなっているのでしょうか。今年の「市民がつくるごみ読本 C&G No.10（廃棄物学会編集）」は、「めぐる世界のモノとごみ」を特集のテーマとして 4 月に発行されました。そこで、今回のセミナーでは、この C&G にご寄稿いただきました竹内啓介さん・西岡良夫さんと山川肇先生をお招きし、「めぐる 世界のモノとごみ」について考えます。市民や学生の皆さん、奮ってご参加下さい。

日 時：平成 18 年 6 月 10 日（土）13：30～16：45（受付 13:00 開始）

会 場：大阪市立大学文化交流センターホール

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 大阪駅前第 2 ビル 6 階

電話 06-6344-5425 ホームページ <http://www.ado.osaka-cu.ac.jp/BUNKO/>

プログラム：

13：30～13：35	開会挨拶
13：35～14：05	「めぐる 世界のモノとごみ」山川 肇先生（京都府立大学）
14：05～15：15	「パラオの廃車適正処理 - JARA の提案」竹内啓介さん (JARA・全日本自動車リサイクル連合)
15：15～15：30	(休憩)
15：30～16：40	「違法ラミン材停止行動と企業の変貌」西岡良夫さん (ウータン・森と生活を考える会)
16：40～16：45	閉会挨拶

参加費：1,000 円（資料代として C&G No.10 を含みます。C&G No.10 を持参される方は 500 円となります。）

定 員：100 名（先着順）

申込方法：（事前申込み及び締切日厳守をお願いします。）

「市民と学生のためのセミナーに参加希望」と明記の上、住所、氏名、連絡先（電話番号、E-mail アドレスなど）とともに、C&G No10 の要・不要のいずれかを必ず明記して、5 月 26 日（金）までに E-mail、ファックス、もしくは葉書で下記までお申し込みください。（E-mail、ファックス、葉書の到着にて受付番号を発行します。）

申 込 先：〒530-0051 大阪市北区太融寺町 5-15 梅田イーストビル 3 階

財団法人 廃棄物研究財団 大阪研究所 気付

廃棄物学会関西支部「市民と学生のためのセミナー」係(担当木川修二、宮田尚

稔)

TEL:06-6363-3481 FAX: 06-6363-3482 E-mail: o-seminar@jwrf.or.jp